

ときがわカンパニー通信

第76号

2024年8月5日発行
(2024年8月11日配布予定)

■発行: ときがわカンパニー合同会社 文責: 関根雅泰(せきねまさひろ)
■住所: 〒355-0343 埼玉県比企郡ときがわ町五明1083-1
■電話・FAX: 0493-65-5700 (すみません、外出が多い為、留守電にメッセージをお返し頂ければ、こちらからお電話します)
■メール: info@learn-well.com (メールの方が連絡が取りやすく、ありがたいです)
■URL: https://tokigawa-company.com/



はじめに

ときがわカンパニー(同)代表の、^{せきねまさひろ}関根雅泰です。

月1~2回の頻度で、この「ときがわカンパニー通信」を発行し、活動の様子を、皆さんと共有できたらと考えています。どうぞよろしくお祈りします。

左の写真は、ときがわ町役場本庁舎前にある「ときがわ町起業支援施設 ioffice」です。

ときがわカンパニー合同会社がやっていること

ときがわカンパニー合同会社は、2016年1月に設立されました。設立目的は、「ときがわ町に、人が集まり、仕事が生まれる」状態を創ることです。そのために、「仕事を自ら創り出せる」ミニ起業家を支援し、彼らが活躍する事で、ときがわ町や近隣地域に、どんどん新たな仕事が生み出され、人が集まってくるような状態を創れればと考えています。皆さんのご支援よろしくお祈りします。



第64回 本屋ときがわ町 v.2 を開催しました

2024年7月21日(日)第64回本屋ときがわ町を開催しました。**本屋ときがわ町は、毎月第3日曜日の10時開店「期間限定の本屋さん」です!** ★出店者(1)本屋ときがわ町ioffice店。しるし士関根が、折り目をつけたり、書き込んだりしている「しるし士本」を販売中! 地域でのミニ起業に興味がある方にとっては、掘り出し物の1冊が見つかるかも! ★出店者(2) Full本屋&トキノキオク舎 風間さん御夫婦。とし姉(比企大21秋)が、娘さんと一緒に来てくれました。Sa画伯が「本屋ときがわ町」のNew看板を描いてくれました! 今回のテーマは「可愛い月」だそうです。ありがとう! 農家民宿らくやの金子さん@ときがわ町が、「朝採れ野菜」と共に来てくれました。いつもありがとうございます! 最近「工藤阿須加が行く農業始めちゃいました」に取材されたそうです。凄いですね!(2024年7月17日BS朝日で放映)金子さんが、しるし士本を3冊ご購入下さいました。城西大学3年の浅野さんは、「対話型OJT」を買って下さいました! インターンとして「カタリバ」で働いていて、後輩指導もする関係で、OJTに興味があるそうです。

午前は、「怖い系の紙芝居で冷やっとする会」午後は、風間学長企画の「最近ハマっているテーマと、それに関連する本をシェアする読書会」を開催。企画はゆるい感じでしたが中身はガチでした。皆さんの想いが熱すぎて時間が足りませんでした。取り上げられたテーマは、「公民館」「種」「モテる」「動く」「ラノベ」「戦略」「社長」「教育」



でした。話が盛り上がり、30分延長。またちよくちよくやりたい! 皆さん、ありがとうございます! 8月も涼みに来てください!

----- ご来店くださった方々 -----

- *浅野さん(城西大学) *関口さん(城西大学)
- *とし姉(比企大21秋)と、娘のSaさん
- *金子勝彦さん(農家民宿 楽屋) *金井真輝さん(比企大23秋)
- *山崎修さん(悠々社・小川町) 他にも、ありがとうございます!



比企起業大学24春「6月ゼミ」を開講しました

2024年7月26日(金)18時~20時、比企起業大学24春「7月ゼミ」を開講しました。講師陣、学部生との意見交換の場です。(今回は、あいにく、2名の参加となりました)

1. 近況報告

●内田さん

<ベビーステップ(BS)>

① 新作開発

6月WSに基づき、「誰かにとって意味あるモチーフ」で制作する。途中でも、7月のゼミで見せられる様にする

② 7/11イベント実施

あくまでフロント商品。自分のバック商品に繋げるべく、近所の新しいお知り合いをつくるつもりで頑張る。

<BS(ベビーステップ)の達成状況>

- ・7月11日 本屋とのコラボイベント
- ・新しく知り合いが3人できた。
- ・集客の難しさ、集客を意識する経験になった。
- ・自分がビジネスにおいて何が足りないかが分かった。集客をしないとお金が生まれない。
- ・予約の枠を埋めないと、お金が生まれない。主催者に損をさせないように、集客を頑張らないといけない。それを体得できた。集客の難しさとそれを頑張らないとお金にならないことを改めて実感。何としてでもやらなきゃ。
- ・新作を途中まで作った。

風間

・1日何人のイベント?

内田さん

- ・食器も用意する必要があり、6名分
- ・予約制で、2部制とした。1部6人、2部6人。トータル12人。
- ・予約は、10人。残り2人は、フラット。
- ・予約枠の内、9人まで埋めた。
- ・当日1人キャンセル。実際は、8人。
- ・残り4食は、お店のオーナーとスタッフに食べてもらった。収支としては、赤字だった。

イブキ

・収支は何名で黒字に? マックスで黒字に?

内田さん

- ・1,500円は取らないと、赤字になる。
- ・直前に、12人分+αで食材を多めに購入。

・見積りの段階で甘かった。値段設定、食数ももっと考える必要があった。

・イブキさんのように、100名~のイベントは凄い。

イブキ

・原価計算は難しい。100人分のご飯を作ったことがない。読めない。

内田さん

- ・予行演習もしたが計画が甘かった。
- ・野菜は無償で提供してもらった。にもかかわらず、赤が出た。
- ・凄く楽しかった。お客さんからは、「またやってくれ」と。
- ・やってみないと分からず、良い経験になった。



●イブキ

<ベビーステップ(BS)>

① いとイベ事業に関して

- ・先月同様にイベント等に顔を出しつつ、自分が出店するイベントにて宣伝を行う。
- ・フロントエンド&バックエンドを検証し、検証分析をしてテキストに起こす。(次回の時に、関根さん風間さんに見てもらおう。)

② イベント事業に関して

- 1: こめこめくらべ(農業)
- ・営業資料を持ち込み出店者集めを開始する。(目標:5店舗以上まわる)
- ・イベント自体の磨き上げを行う。
- ・集客チャネルの練度を高める
- 2: 外のみバル街(商店街)
- ・7月6日に実施する→アーカイブデータの作成→『何かしらの気付きを言語化する』(重要)
- ・売り上げ等の記録をつける

③ 若者交流事業

・プロポーザルプレゼンが7月8日なので

こまでに2回以上プレゼンの練習をする。

- ・プロポーザルの結果次第でイベント企画の実工程表を作成(7月18日から)
- ④ まちづくり&場づくり事業
- ・まちづくり活動を行う人たちを一丸にするためのハブづくりを開始する。 ↓
- まちづくり活動をしている人たちとの連携力を高めるために、地域を拠点に活動を積極的に行っている人たちに挨拶周り開始。(一組織)
- ・BSの達成状況
- ・古民家回収して宿をやるビジネスを、前職の代表と一緒に進めている。
- ・チラシを、SNSにあげている。7名の方が泊りがけで、1週間、古民家改修を行ってくれる。
- ・観光庁の補助金を使いながら実施できることになった。

- ・「いとイベ」50人ぐら増やすことができた。
- ・「いとイベ」をフロントにして、事業内のどれかのバックにつなげる

- ・「こめこめくらべ」
- ・5店舗に対して、4店舗に。

- ・コメの食べ比べ+サブコンテンツで、訴求効果を高められないかと考えてきた。

- ・外のみバル街。10年やっているイベント
- ・ご風見客がひいてしまう。外で呑める場所はすくない。バル街というより、スポット的に。

- ・1日13万円の粗利で悪くない。
- ・若者交流事業が、採択された

- ・まちづくり&場づくり事業
- ・当事者意識をもってもらうために。1万円プロジェクトを試しに始めた。映画鑑賞を外でやりたいと考えていた人が動き出してくれた。

- ・町づくりを、若者に絞って考えている。

- ・バル街ではお客さまは何人くらい来た?

- ・1日13万円はすごい

- イブキ
- ・150~200人ぐらいさばいた。

- ・ビールと串焼き、枝豆を出した。
- ・外から内にくるイベントとしては成功している。

- ・やったほうがいいが、出店が少ない。
- ・外で出店する人が少なかったのもある。





前編 比企起業大学が、100年続くために …

比企起業大学・大学院 総長の関根です。2024年7月5日(金)立教大学での読書会に参加しました。その際に、立教大学が、150周年を迎えたことを知りました。比企起業大学も、少なくとも100年は続くために、どうしたらよいかを、考えるようになりました。実は、このテーマについては、学習学の本間正人先生との講座『学習する地域』であり続けるために〜比企起業大学の挑戦』の時(23年3月)から、おぼろげには、考えていました。

この講座の中で、長く続いていくためには「箱、本、人」が必要ではないかと考えました。この「箱、本、人」をベースに、比企起業大学が、100年続くためにどうしたらよいかを考えてみます。

① 箱(建物)

ときがわ町で、1300年以上続いている慈光寺は、今も寺院(西暦673年に開山)が存在しています。卒業後30年経って訪問した母校USMも、主要な建物が残っていました。ただ、私と妻が通っていた大学付属の英語学校は建物が取り壊され、駐車場に変わっていました。

建物(箱)が残っていると、「続いている感」がありますし、建物(箱)が無くなっていると、「続かずに終わってしまった感」があります。

2017年に設立された比企起業大学が、100年後(2127年)も、何らかの「箱(建物)」として残っていると、「続いている感」が得られると思います。では、どんな「箱」を残せばよいのでしょうか？

今は、ときがわ町役場・本庁舎前の「ときがわ町起業支援施設」があります。ここで、比企起業大学大学院のゼミを行っているのですが、この場所は、一つの候補になるでしょう。ただ、この建物自体は、役場のものなので、私達にコントロールできない部分もあります。そこで、私達主導で動き、残せる「箱」として、比企起業大学の「丸太看板」を立てていこうと考えています。

それが「比企ら辺まるごとキャンパス化計画」です。ときがわ町を皮切りに、比企ら辺に「比企起業大学キャンパス」という丸太看板を

立てていきます。毎年1本、20年かけて、20本たてる予定です。20年経ったら、伊勢神宮の「式年遷宮」のように、古くなった丸太看板を、新しい丸太看板に、建て替えていきます。

この「丸太看板」が、設立100年後(2127年)も残っていたら、比企起業大学が「続いている感」が得られるのではと思っています。

② 本(教科書)

比企起業大学の考え方や方法論を、後世に伝える「本(教科書)」があると、100年後も続いていくことができるのではと考えています。24年7月3日に新札となった渋沢栄一の本『論語と算盤』は、初版が1916年に出たので108年経っています。

比企郡嵐山町に「郷学研修所・安岡正篤記念館」が残っている安岡正篤先生は、1927年に金鶏学院、1931年に日本農士学校を設立されています。安岡正篤先生は教科書として、もうすぐ刊行100年になる『東洋倫理概論』という本を書いています。

(今はPHPから『人間としての生き方』として出版)比企起業大学も、100年残るような、教科書を書きたいと思っています。学長の風間さんとの共著『地域でしごと まちづくり試論』(2021 まつやま書房)に続くものとして…。今、52歳なので、50代~70代にかけて、書き進めようと考えています。

次回後編につづく…



立教大学は2024年で創立150周年



比企起業大学「まるキャン」の「未来地図」が完成しました!

2024年7月30日(火) 13時~14時

「比企ら辺まるごとキャンパス化計画(まるキャン)」の第5回ミーティングをしました。今回は、久保田ナオさん(比企院1期生)が描いて下さった「未来地図」最終版の確認です。ナオさんに、これまでの経緯、未来地図に込めた想いについてお話し頂き、参加したメンバー(山なおさん、金井さん、風間さん)からコメントを頂きました。

・感無量 ・ワクワクしかしい。

・こういう「世界観」を達成出来たら、多くの人を救えるのでは。など
後半は、比企起業大学「応援団員」募集案について、メンバーと話し合いました。ただ、メンバーからは、NFTに対する懐疑的な言葉が多く出てきました。NFT(仮想通貨)は、いかがわしく思われそうなど。
・看板を立てるための「お金を集めること」が目的なら、クラウドファン

ディングの方が親和性も高くよいのでは？

・NFTを使う理由は？

ピーンと、緊張感が漂ってきました。私、関根から「独断と偏見で」と断った上で、ここは「NFTでいきたい」という話をさせてもらいました。クラファンだと、正直燃えない(もう既に乱立していて今更感がある)。難しいと思われるNFTで、少しでも応援者が集まれば、その方が嬉しい。それで地域で経済を回す一つの新しい形を示したいと思っている。仮に、今年NFTで集まらなかったとしたら、来年はクラファンを考えてもOK。(失敗はない。全て学習)と説明し、今回はNFT(仮想通貨)で募集させてもらうことにしました。今後、比企起業大学「応援団員」募集の案内を始めていきます。皆さんのお力添えを、ぜひ!お願いします。

詳細はこちら▶



編集後記

先日偶然、ときがわ町への移住希望者の方と出会いました。その方をお誘いして7月20日に「番匠まつり」に足を運びました。町民の皆さんの温かな協賛に支えられたお祭りでは、夜空に広がる花火が一層の魅力を添えていました。これから移住を希望される方々が、比企郡や、ときがわ町を、さらに好きになってくれたらと、願うばかりです。

最近、前号の「編集後記」に掲載した、二次元バーコードを通して「そらとときの本」のWEBサイトからお問い合わせをいただきました。このWEBサイトは、同じく移住者の金井さん(比企大23秋)に依頼して、制作していただいたものです!

私の仕事は「大切な気持ちを形にする1冊の宝物のような本」を作る仕事です。「長い間、作り溜めた作品を、1冊の本にまとめることで安心したい。」そんなお声も、お客様から頂戴いたしました。

これからも皆様の人生の大切な気持ちや時間を「本」という形にするお手伝いをしていきたいと思えます。ご興味がある方は、ぜひ、お気軽にお問い合わせください。地元のつながりを大切に、皆様と共に歩いていけることを、楽しみにしています。

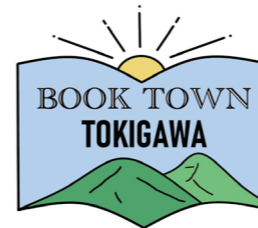
<そらとときの本・藤原あいか>



「そらとときの本」のWEBサイトです!
◀二次元バーコードを読み込んでみてください



第65回 本屋ときがわ町 v.2 を開催します



出店者の募集をしています

2024年8月18日(日) 10時~15時

ときがわ町役場前の起業支援施設 iofficeにて

本屋ときがわ町に、この「ときがわカンパニー通信」をご持参の方は

「関根の販売するしるし士本の文庫or新書」を1冊プレゼント!

比企起業大学・総長の私が、「大切な」「参考になる!」と線やメモを記入した

「世界に1冊しかないしるしの入った本」です。ビジネスの参考にいかがでしょうか?

(本の種類によっては、しるしが入っていない本もございます)



ときがわ町起業支援施設 iofficeでの「有料起業相談」のお申込みについて

「ときがわカンパニー」のブログに、「起業相談用:代表 関根の大まかなスケジュール」が出ています。

そちらをご確認の上、「フォーム」からお申し込みください。

24時間、365日いつでもお問合せ可能です。

1回1時間で料金は3,300円、比企起業大学関係者・ときがわ町民は1,100円を頂戴いたします。

